

第 30 回 生活習慣病教室

「白内障・緑内障について」

- 日 時：平成 24 年 12 月 25 日（火）14 時半～15 時半
- 場 所：牛久愛和総合病院 B 館 2 階大ホール
- 講 師：眼科医長 山本 敏哉

白内障って...？

白内障は個人差がありますが、早い人では 40 歳代、50～60 歳代の人の殆どに存在します。80 歳以上の人では 100%存在しています。

つまり、年齢と共に誰にでも起こりうるのです。

現在、完全に抑えることが出来るような予防方法はありません。

ただし、紫外線対策、点眼薬・内服薬などで進行を抑えられるとされています。

基本的には白内障を治すためには手術が必要です。しかし、白内障になったからすぐ手術というわけではありません。

初期の段階では症状はなく、殆どが問題になりません。症状により手術するかどうかを決めていきますので、自覚症状がなければ経過観察します。

白内障の中には緑内障を合併してしまうことがあり、その場合は早急に手術が必要になります。

現在の白内障の手術は？

- 手術器械の発展により、ほぼ完成された手技（30 分以内で終了）
 - 麻酔は点眼が主で、痛い注射もない
 - 手術中の痛みは殆ど無い
 - 手術中に器具が見えることもない
 - 自己閉鎖するため、全く縫わない
- 術後の定期検査はしっかりと行いましょう。

緑内障とは？

網膜の神経線維が減り、視神経乳頭形状の変化や視野が進行性に狭くなる状態。

原因ははっきりしていませんが、危険因子として加齢・高眼圧・緑内障の家族歴があります。40 歳代で 2%、70 歳代で 10%の人が緑内障と言われており、現在、40 歳以上の方の 20 人に 1 人の割合です。初期には症状は出ません。

そのため、緑内障と知らずに過ごしている人達はたくさんいると思われれます。

緑内障は網膜神経の病気です。神経を再生させる医療がまだ確立されていない現在では、完治できません。

一度失った視野は元に戻りませんので、早期発見がとても重要です。